

事後評価結果（令和2年度）

担当課：東日本高速道路(株)高速道路計画課
 担当課長名：川崎 健史

事業名	一般国道45号 仙塩道路 (仙台港北～利府中)	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局 東日本高速道路(株)
起終点	自：宮城県仙台市宮城野区中野 (仙台港北IC) 至：宮城県宮城郡利府町春日 (利府中IC)			延長	7.8 km

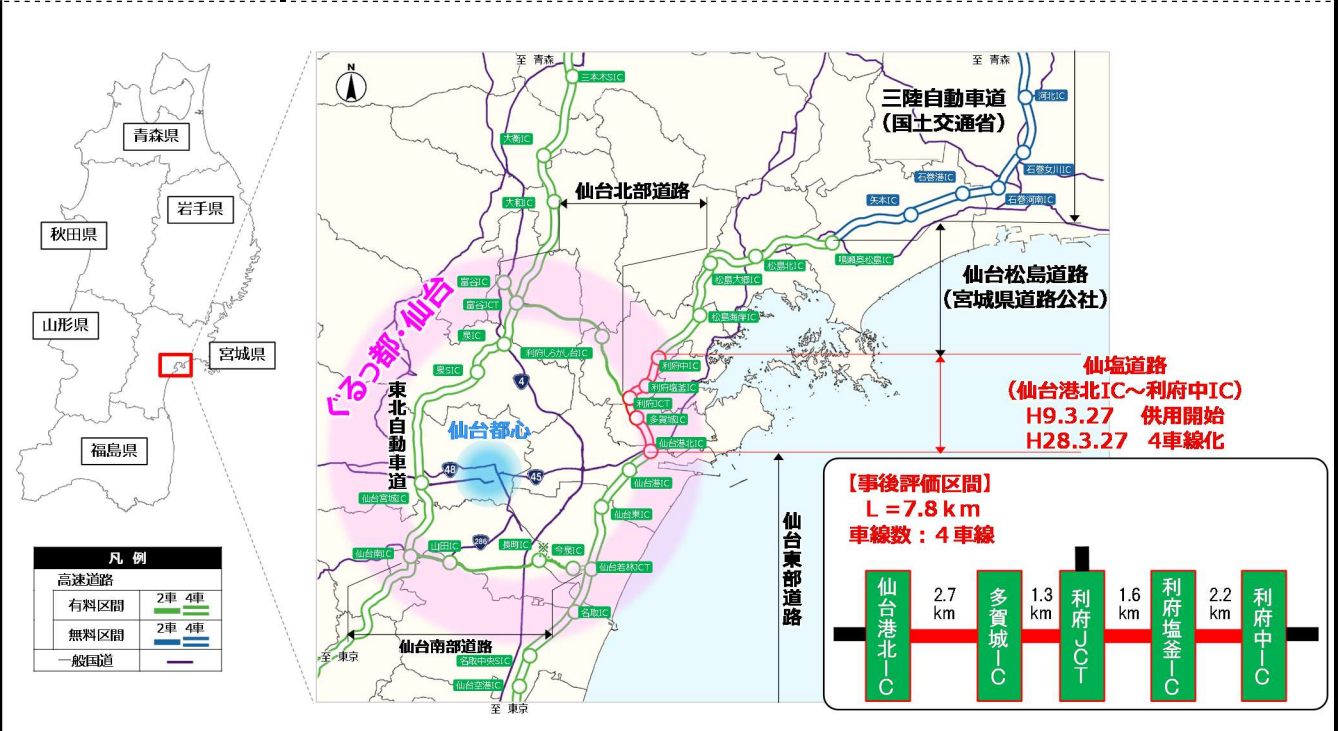
事業概要

仙塩道路は、三陸沿岸道路の一部を形成し、宮城県仙台市宮城野区から利府町へ至る延長7.8km、4車線の自動車専用道路である。

事業の目的・必要性

仙塩道路は、仙台都市圏高速環状ネットワーク(ぐるっ都・仙台)の一部を形成するとともに、東北地方の物流拠点である仙台塩釜港への利便性の向上、交通混雑の緩和などに寄与することを目的とする道路である。

事業概要図



事業の 効果等	事業期間	事業化年度	S57年度	用地着手	S59年度	供用年 (完成4車線)	(計画：再評価時) H27年度 (実績) H27年度	変動	-
		都市計画決定	S58年度 (H5年度変更)	工事着手	S60年度				
	事業費	計画時	838億円		実績	836億円		変動	1.0倍
	交通量	計画時	22,500台/日		実績	34,000台/日 (令和元年度)		変動	151%
	旅行速度向上 (供用前現道→当該路線)	18 km/h → 100 km/h (全て一般道利用) (全て高速道路利用)※1		交通事故減少 (供用前現道→供用後現道)		142件 → 61件 (H8年) (R1年)※2			
費用便益 分析結果 (事前) ※3	B/C	2.7	総費用	1,307億円 事業費：1,266億円 維持管理費：41億円	総便益	3,571億円 走行時間短縮便益：3,070億円 走行経費減少便益：384億円 交通事故減少便益：118億円	基準年	平成23年	

費用便益 分析結果 (事後)	B/C	総費用	1,980億円	総便益	7,419億円	基準年 令和2年
	3.7	事業費： 維持管理費：	1,822億円 158億円	走行時間短縮便益： 走行経費減少便益： 交通事故減少便益：	6,824億円 519億円 76億円	
事業遅延によるコスト増		費用増加額	— 億円	便益減少額	— 億円	
事業遅延の理由						
—						

客観的評価指標に対応する事後評価項目
<p>●交通量の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該区間の交通量は、約29,500台/日（H27）から、約34,000台/日（R1）に増加 ・混雑度は4車線化により1.7から0.59へ大幅に低下（NEXCO東日本データ） ・渋滞回数は4車線化により682回/年（H27）から0回/年（R1）となり解消（NEXCO東日本データ） ・並行区間等の渋滞損失時間の削減 渋滞損失時間削減量： 9,348.2千人・時間/年 渋滞損失削減率 0.0758%削減 <p>●近傍の空港及び港湾へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台空港【拠点空港（旧第二種空港）】への所要時間が短縮 【松島～仙台空港：開通前104分⇒開通後30分】 （暫定2車線開通時：46分、4車線開通時：30分） ・仙台釜石港【国際拠点港湾（旧特定重要港湾）】への所要時間が約11分短縮 【大衡IC～仙台港北IC：開通前39分⇒開通後18分】 <p>●日常活動圏中心都市へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台市から石巻市（日常活動圏中心都市）への所要時間が約8分短縮 【仙台市～石巻市：開通前145分⇒開通後53分】 <p style="text-align: right;">他6項目について効果の発現が見られる</p>
その他評価すべきと判断した項目
特になし

事業による環境変化	環境影響評価に対応する項目
	<p>【大気環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新のバックグラウンド濃度を考慮し予測した結果、全地点で環境基準を下回ることを確認。 CO：日平均値の年間2%除外値 0.40 ppm（10ppm以下） NO₂：日平均値の年間98%値 0.024 ppm（0.04～0.06ppm以下） <p>【交通騒音】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・騒音測定を実施し、全地点で環境基準値を下回ることを確認。 測定値：昼間57～65dB 夜間53～59dB（環境基準：昼間70dB 夜間65dB）
	その他評価すべきと判断した項目
特になし	

事業評価監視委員会の意見
対応方針（案）のとおり了承

事業を巡る社会経済情勢等の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・人口は、仙塩道路沿線では全国平均と比較して増加傾向。 ・宮城県の県内総生産（名目）は、全国（国内総生産）と比較して増加傾向。 ・製造品出荷額は、仙塩道路沿線では全国（製造品出荷額）と比較して増加傾向。

今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性
<p>観光の活性化、物流の効率化、基幹公共交通の支援、リダンダンシーの確保など、多様な整備効果が発現しており、当該区間における今後の事後評価は特段必要ないものとする。</p> <p>道路の整備によるネットワーク効果の更なる発現など、引き続き周辺道路も含めた利用状況について注視し、地域と一体となった利用促進の取組みなど、積極的に努めていく。</p>

計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性	
事後評価の結果、同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の特段の見直しの必要性はないと思われる。	
特記事項	
特になし	

- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。
- ※1 仙台港北 I C～多賀城 I C間の平均旅行速度
- ※2 並行する国道 45 号の交通事故減少
- ※3 事前は平成 23 年度に実施した「一般国道 45 号 仙塩道路」の事業再評価（事業全体）を記載